

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|----------------------------------|
| 事業名 | 日本遺産の磨き上げ ー住民と共に心豊かな村づくりー |
| 事業主体 (連絡先) | 原 村 (生涯学習課 文化財係 0266-79-7930) |
| 事業区分 | (3) 教育 文化の振興 |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 900,148円 (うち支援金: 708,000円) |

事業内容

日本遺産の活用や阿久遺跡をはじめとする文化財の活用を促進するため、地域住民が主体的に取り組めるよう、様々な事業を行った。

- ・文化財活用サポーターの募集
- ・阿久遺跡(阿久の森)内での「縄文の深呼吸」と題するイベント実施。 2021.10.3 427名来場
- ・わくわく縄文講座
講演会 1回・縄文勉強会 1回
- ・縄文ワークショップ 土鈴づくり&野焼き&縄文食作り1回・縄文パステルアート教室1回
- ・地域を元気にスタンプラリー 商工会加盟24店舗 3店舗回り応募 応募者234名



【遺跡活用プロジェクト「縄文の深呼吸」森の音楽会の様子】

事業効果

- ①日本遺産構成文化財や地域の文化財のPRが効果的にできた。
- ②世代を超えた多くの方々のコミュニティの場が設けられた。
- ③遺跡周辺のごみ拾い等で2050ゼロカーボンの周知や意識拡大ができた。
- ④商工会加盟店と連携することで、職種を超えたつながりができ、今後の文化財活性の手助けとなった。また、お店の活性化にもつなげた。

【目標・ねらい】

- ①日本遺産構成文化財のさらなるPR
- ②文化財活用サポーターの増員
- ③住民参加型の事業の拡大や周知
- ④世代を超え村の文化財を通じ、地域への愛着心を育てる

今後の取り組み

引き続き日本遺産構成文化財や文化財を使った事業を展開し、村民と協働で村が今以上に元気になることを目指す。また、そうすることにより文化財活用サポーターの増員も目指す。

小中学生との連携を図り、文化財による村づくりの意識啓発を進める。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・遺跡活用プロジェクト「縄文の深呼吸」への来場者が目標より42%増、縄文ワークショップが目標より34%増となった。
- ・多くの村民に日本遺産のPRができ、興味を持ってもらえた。
- ・世代を超えたコミュニティの場を設けることができ、村への愛着心につながった。